

令和2年度

教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

I 点検・評価の主旨について

1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、令和2年度の事務や取り組みとし、学校教育や生涯学習に関することなど、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、大館市の「教育大綱」に掲げる「基本理念・基本目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施します。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項）が求められていることから、学識経験者2名以上を選任し、点検・評価について個別に意見を聴取します。

4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、令和3年度の所管事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成します。（3月）
- ②4月上旬までに、令和2年度の実施状況と見込みを取りまとめ、報告書（点検・評価）素案を作成します。
- ③学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成します。また、点検・評価の目標設定案について、意見を聴取します。（5月）
- ④教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議します。また、点検・評価の項目内容を報告し了承を得ます。（5月）
- ⑤報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。

目 次

基本理念 ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成			
I 点検・評価の主旨について			頁
1	点検・評価の主旨		1
2	点検・評価の対象		1
3	学識経験者の知見の活用		1
4	報告書の作成		1
II 点検・評価の結果について			
基本目標			
評価項目・内容		担当課	頁
1 信頼と安全を築く教育環境の整備充実			
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る		3
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実努める	教育総務課	4～5
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める		6
2 ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める		7
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る	学校教育課	8
3	共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業(響学)を推進する	教育研究所	9
4	次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する		10
3 ふるさとの誇りと未来をはぐむ生涯学習の推進と支援			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める		11～12
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	生涯学習課	13～17
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	中央公民館	18
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	地区公民館	19～23
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める	勤労青少年ホーム	24
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	女性センター	25～26
4 郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する			
重点施策			
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する		27
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する	歴史文化課	28
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える		29～30
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		31

重点施策点検・評価表

1 - 1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課（館）
	① 改築や大規模改修等による学校整備計画の推進
	教育総務課
活動内容	<p>小中学校25校中、9割にあたる22校が建設後25年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じなければならない時期にきている。</p> <p>施設や設備の改修・修繕が必要な箇所は年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出して、危険度などから優先順位を定めて計画的に工事を実施する。大規模改修や建て替えが必要な場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。</p>
点検評価	<p>■目標を上回る (達成率100%超) □目標どおり (95~100%) □目標をやや下回る (80~94%) □目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>建築年の古い桂城小・城南小の整備を進めるため「耐力度調査」を実施したが、躯体は健全と判定され、改築ではなく改修により長寿命化を図ることになった。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、小中学校の普通教室及びランチルーム、中学校理科室にエアコンを設置することになり、令和3年7月稼働に向けて工事を進めている。さらには、国の交付金を前倒しで活用し、学校長寿命化改修の一つであるトイレ洋式化工事を小学校3校で令和3年度中に完成させることになり、コロナ禍の中で児童生徒の安全確保と学習環境整備に向けた改修が一気に進んだ。</p>
課題等	<p>学校施設長寿命化計画に基づく大規模改修には多額の費用が必要となるため、文部科学省の交付金を活用しながら、年次計画で着実に進めていく必要がある。今年度、桂城小・城南小で耐力度調査を実施したが、建築年が古く老朽化していると考えられる学校が他にもあることから、整備を計画する都度耐力度調査を実施し、整備方針を決定していかなければならない。</p>
学識経験者等の意見	<p>現在最も対応が求められているコロナ対策のため、急遽エアコンを設置するなど、時を置かず迅速に教育環境の改善が進められている。また、トイレの洋式化工事が決定し、教育環境の整備充実が図られていることを評価したい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 学校の維持改修・修繕などの経年劣化対策実施による快適な学習環境の整備
	教育総務課
活動内容	<p>施設や設備の改修・修繕が必要な箇所や、学校・PTA等から要望がある改修箇所は年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出した上で、危険度などから優先順位を定めて計画的に工事を実施する。</p> <p>大規模改修や年次計画による改修工事等を計画する場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。</p>
点検評価	<p>□目標を上回る (達成率100%超) ■目標どおり (95~100%) □目標をやや下回る (80~94%) □目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>今年度も、老朽化に伴う突発・緊急的な破損や故障が多数発生したが、直ぐに対応し学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施した。</p> <p>計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断し、限られた予算を最大限に活用して施工した。</p>
課題等	<p>経年使用による施設の老朽化が進む中、学校やPTAからの要望件数は増加する一方だが、突発・緊急的な修繕を優先せざるを得ないため、要望案件の解消が追いつかない状況にある。</p> <p>また、各学校では校舎のほかプールの老朽化が進み、破損や故障に対しては随時対応しているが、小学校プールは今後存続させる意向のため、大規模な改修を計画的に進めていく必要がある。</p>
学識経験者等の意見	<p>学校やPTAからの要望は、子どもたちの学習環境に直結する切実な事案であり、そのことに応えている教育委員会は高く評価できる。まだまだ要望は増加すると思われるが、学校・PTAへの説明を尽くしながら引き続き対応をお願いしたい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

1-2-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課（館）
	① 社会教育施設の充実と安全性の確保		教育総務課
	活動内容	<p>失立及び比内公民館のエアコン更新や北コミュニティセンターの暖房設備更新は設備稼働時期に間に合うよう完了させる。また、田代公民館越山分館・赤川分館の屋根等改修工事は施設利用者に配慮しながら工事を遅滞なく実施し、地域コミュニティの核となる施設の良い環境を維持する。</p> <p>経年劣化による故障や破損には応急処置などで対応しながら施設の機能維持を図り、速やかに必要な予算を確保して修繕や改修を行い、利用者の安心と安全確保を図る。</p>	
	点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>各公民館のエアコン設置及び公民館分館の屋根改修などの社会教育施設の維持改修工事や、女性センターのトイレ洋式化などの改修工事を実施し、利用者の利便性と良い環境整備の向上に努めた。</p> <p>その他、年度中に発生した緊急工事・補修工事等については、施設の利用に支障を来たさないよう速やかに対応し復旧させた。</p>	
	課題等	<p>施設や設備の故障は、休館等の施設利用停止に直結する。</p> <p>これまでは故障や破損などの不具合が発生してから改修する「事後保全」で対応してきているが、今後は点検の強化と不具合が発生する前に改修して突発的な事故を減少させ改修費用を抑制する「観察保全」にシフトしていくことが、長寿命化を図っていく上で重要な課題である。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
	学識経験者等の意見	<p>公民館のエアコン更新等、年度当初に計画された工事が目標どおり完了し、安心して利用できる環境となった。施設の安全確保のため、「観察保全」の考え方は、実施するに当たって別の困難も予想されるが、是非とも推進していただきたい。</p>	
	② 文化施設、社会教育施設の長寿命化計画の策定		教育総務課
	活動内容	<p>大館市個別施設計画では、対象49施設を全て存続するとしているが、約半数は建設後40年を経過しているため、今後の施設整備の基本的方針を定め、改修等により施設の機能を維持しながら長寿命化を図ることを目的とした「長寿命化計画」を策定する。</p>	
	点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>各施設の劣化度や過年度の維持管理経費などを調査した上で、令和3年3月に長寿命化計画を策定した。また、ホームページへも掲載して計画の周知を図った。</p>	
	課題等	<p>現在使用中の全ての施設は、当分の間活用することとしているが、今後は、施設や設備の老朽化に伴う統合や廃止等を検討しながら施設保有量の最適化を図り、コスト縮減を考慮して改修・解体などを計画的に進めていく必要がある。</p> <p>なお、これらには多額の費用を要するが、老朽化が著しい学校施設についても年次計画で大規模改修を進めていく予定としていることから、社会教育施設整備に対する財源の確保が課題となる。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>計画どおり長寿命化計画が完成できたことは、実態を把握し今後の対応を考える基盤ができたという意味から評価したい。このことを基本に据え、数年先を見通した各施設の在り方を検討しながら、整備充実に結び付けていただきたい。</p>		

重点施策点検・評価表

1-2-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	③ ほくしか鹿鳴ホール（大館市民文化会館）から発信する芸術文化鑑賞の充実
	担当課（館）
	教育総務課
活動内容	昨年4月から導入したネーミングライツ（施設命名権）により、新たな財源を確保することができた。これらを活用して幅広い年代の市民が楽しめる事業を企画し、芸術文化鑑賞の機会を提供する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 今年度に企画した市主催事業27事業の内、17事業を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、市民等に十分な芸術文化鑑賞の機会を提供することが出来なかった。しかし、年度の後半には、消毒液の配置やサーモグラフィカメラを導入するなど感染症対策を講じて、入場者数も50%に制限しながら、いくつかのコンサートやイベント等を開催することができた。
課題等	当分続くであろうコロナ禍の中においても、感染症対策を講じた上でコンサート等を開催していかなければならない。しかし、入場者規制等を実施しながらの開催は確実に指定管理者の減収が見込まれることから、従来の運営方法を見直し、事業者収入を確保するためのニューノーマルに対応した業務改善を進めていく必要がある。
学識経験者等の意見	令和2年度の特に前半は、コロナ対応への手探り状態が続いたため、各事業の中止を余儀なくされ、残念であった。その中であっても、対策を講じていくつかの事業を開催し、無事にできたことは評価できる。今後の取組に期待したい。
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用
	教育総務課
活動内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸館利用が激減しているが、収束後の通常利用に備えてイベント関係者などへのドームの魅力発信を継続するとともに、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携して、スポーツのみならずさまざまなイベント開催などに活用して交流人口の増加につなげていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 新型コロナウイルス感染症拡大が収束せず、市外からの利用を制限するなどしたことから利用者数の減少が長期に及んだ。9月には感染予防対策として入口にサーモグラフィカメラを設置し、利用者の安全確保を図りながら徐々に通常通りの貸館を再開したが、例年行われている本場大館きりたんぽまつりや圏域産業祭などの大規模イベントでの利用がなかったため、交流人口の増加につなげることが出来なかった。
課題等	ほくしか鹿鳴ホール同様、当分続くであろうコロナ禍の中において、減少する事業者収入を確保するため、ニューノーマルに対応した業務改善を進めていく必要がある。また、令和4年度には開館35周年を迎えることから、コンサート等の記念イベント開催に向け、年内に事業内容を決定する必要がある。合わせて、かねてから課題となっている音漏れ苦情についても、コンサート等を実施するにあたっては対応策を検討しなければならない。
学識経験者等の意見	全天候対応型のドームとして、その活用が期待されているが、新型コロナ対策のため利用を制限しなくては出来なかったことは残念であった。今後は、これまでの経験を生かし、創意工夫を続けながら交流人口の拡大に結び付けてほしい。

重点施策点検・評価表

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める
	担当課（館）
	① 教育委員会施策の情報発信の強化
	教育総務課
活動内容	毎月開催する教育委員会会議において、施策やその実施状況の報告等を的確に行い、協議・討議・提案を諮り、議事録をホームページ等で公表する。 教育委員会点検・評価の公表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動を市民及び全国に発信し、教育の産業化構想やおおだて型アクティブラーニングの周知を図るとともに、大館で学ぶ交流人口の拡大に努める。 開かれた教育委員会としての透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 教育委員会の活動を理解してもらうため、総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページに公表し、施策の取り組みの透明化を図った。 また、実施事業の客観性を確保するため、学識経験者の知見を活用して教育委員会の重点施策の点検・評価を実施し、その結果を公表して教育委員会が進める大館の教育への理解に努めた。 ホームページを活用した施策・事業の周知は、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大によりほとんどの事業が中止となったため、発信機会が大幅に減少した。
課題等	全国から関心を集める大館の教育の理念と実践を、ホームページを活用して全国に情報発信しているが、何よりも市民に一番理解してもらうための周知を図ることが重要である。そのため、市広報や地元紙に教育委員会の取り組みなどを掲載するほか、オンラインなどを活用した情報発信により、大館の教育への理解を得ることが大切である。
学識経験者等の意見	市民へのアンケートの結果では、平均点以上の高い評価を受けていることは日頃の取り組みの成果である。情報の周知に当たっては、情報を伝えたい相手を意識し、その方々に適した方法を工夫しながら教育委員会の施策の理解を促していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input type="checkbox"/> 廃止検討
	<input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続
	<input type="checkbox"/> 廃止検討
	<input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

2-1

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める		担当課（館）
	① 大館の未来を切り拓くための総合的人間力（「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」）の育成		学校教育課 教育研究所
	活動内容	ふるさとキャリア教育10年目を迎え、これまでの各校の実践や子どもハローワークなどの取り組みを通して、子ども達に身に付いたおおだて型学力を評価する。その成果と課題を整理・分析し、新学習指導要領に則った向こう10年の子ども達に必要とされる資質能力を明確にする。また、10年間の実践の成果を地域や保護者に積極的に周知していく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
		コロナ禍の中でも、各校の百花繚乱作戦はほぼ予定通りに実施され、報道各社を通して活動を発信することができた。「おおだて型学力」を育成する授業（響学）こそが、教科学習を通じたキャリア教育であるという捉え方に基づき、各校の授業への意識転換（共感的・協働的な学び）を図ってきた。子どもハローワークは、企業や大学の受け入れが中止となったことから例年の4割ほどの体験者数となったが、5回以上参加した児童生徒12名の中から、7回以上の参加にハローワーク奨励賞を授与した。また、「まなびしんぶん」を40号を発行し、他校の取組や子どもハローワークの活動紹介のほかに、本市出身のNASA職員、JAXA職員の活躍も紹介するなど、体験数が少なくても児童生徒への情報提供ができた。意識調査「地域のために何ができるか考えている」については、小6で74%、中3で58%と高い意識がうかがえる。（全国調査の結果がないため比較は無し）	
	課題等	12月に導入した一人一台タブレットを「おおだて型の授業」にどう活用して、授業の質を高めていくか、一人たりとも置き去りにしない授業を実現するかを、モデル校である城南小学校を中心に全小中学校で実践的研究を進める。次年度は、各校のふるさとキャリア教育を、SDGsの観点から見直し、それぞれの活動を価値づけしていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	子どもたちの活躍が市民を元気づけるとともに、子どもたちの成長をも感じ取れる。子どもたちを育むために、授業改善とキャリア体験を両輪として総合的人間力を育成するシステムが構築されており、成果も出ていることを高く評価したい。	
	② いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実		教育研究所
	活動内容	いじめ・不登校調査の分析と活用、関係機関との連携により、未然防止と早期対応を一層充実させる。特に、ゲーム依存により生活リズムを保つことができない子どもとその家族を支援する体制を構築するため、「（仮称）大館市ネットゲーム等依存防止対策条例」策定のための取り組みを進める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
増加傾向にあった不登校・不登校傾向の児童生徒は、各学校の組織的支援と、少年相談センターやおおとり教室との連携により改善、復帰、進路決定につながった。特に、家庭の養育を背景とするケースは数年をかけて継続相談しており、中でも、ゲーム依存や昼夜逆転などは、改善が難しいケースが多い。 条例の策定は凍結しているが、社会問題として市民や保護者への問題提起につながった。市内の養護教諭が「一斉メディアコントロール週間」を実施し全市的な取り組みが効果を上げている。			
課題等	学校と家庭との連携を強化して、ゲームやスマホとの適正な使い方を指導していくとともに、児童生徒に自己管理能力を育成するための取り組みを推進する。不登校対策としては、各関係機関とともに最善を尽くして対応しているが、思うような改善にはつながらず手詰まり状態である。新たなアプローチの可能性がないか、研究も必要である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	少年相談センターをはじめ地域の関係機関と連携しながら子どもたちと保護者を支えるシステムが構築されていることを評価したい。メディアコントロールについては、医学的知見に立った情報を保護者に発信し、一緒に考えてほしい。		

重点施策点検・評価表

2-2

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化
重点施策	
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る
	担当課（館）
	学校教育課 教育研究所
①	ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開
活動内容	ふるさとキャリア教育夢事業、ふるさとキャリア教育ステップアップ事業を活用して、各校の百花繚乱作戦をより充実・発展させ、地域全体を巻き込んだ教育活動にしていく。地域の学習材等の教育資源を活用した授業や起業体験活動の開発を支援、奨励し拡充していく。
点検評価	<p>■目標を上回る (達成率100%超) □目標どおり (95~100%) □目標をやや下回る (80~94%) □目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>ふるさとキャリア教育ステップアップ事業（3校に30万円）を活用して、北陽中学校の防災教育、長木小学校のエゾタンポポプロジェクトのバージョンアップ、有浦小学校の「大館の魅力発信隊」の活動充実を図った。特に、長木小学校では、地域との関わりが奪われた中、感染予防の上、地域住民を招いて長木っ子元気フェスティバルを開催し、太鼓やスクールバンド演奏によって多くの住民に元気を発信することができた。東中学校では花善とコラボ商品の開発、山瀬小学校ではタケノコ和紙の卒業証書づくりなど、地域素材を生かした活動展開ができた。</p>
課題等	<p>小学校社会科副読本改訂の年に当たり、これまで以上に地域の学習資源を活用した授業や活動が展開できるように、内容を大幅に改訂した。タブレットパソコンで動画資料も見ることが出来るようQRコードをつけるなどの新たな工夫もあることから、3・4年生の社会科授業以外にも活用が広げられるよう周知していく。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	教育委員会として独自事業を立ち上げ、予算と人員を確保しながら学校を核とした地域社会づくりに立ち向かっていることを評価したい。地元企業との協働や地域素材を生かした活動は、子どもたちにとっても市民にとっても有用である。
②	地域に開かれた教育活動の取組による元気の発信と地域貢献
	学校教育課 教育研究所
活動内容	県や市の産業部等との連携によるキャリア教育を推進するとともに、産業祭などを通して、各校の取り組みの様子やふるさとキャリア教育の成果を市民に発信する機会を増やす。
点検評価	<p>□目標を上回る (達成率100%超) □目標どおり (95~100%) ■目標をやや下回る (80~94%) □目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>秋田県（北秋田地域振興局）主催のおしごと博覧会、大館市「産業祭」、きりたんぼまつり等が中止、または縮小となり、児童生徒の発表、活躍の場が激減した。しかし、代替として、商工会議書青年部のブルーンリリース事業、サンフラワー実行委員会・秋田銀行のクラウドファンディングなど、新たな企画が地域から提案され、各学校の活動として実現できた。</p> <p>例年のように児童生徒が直接、市民の前に出る機会は縮小したが、全国の企業や団体、県からの授業提案や講師派遣の申出を各校が積極的に活用した。</p>
課題等	<p>コロナ禍の状況に応じた教育活動や地域との関わりを模索していく。</p> <p>文部科学省の方針を受けて、全校へのコミュニティ・スクール導入の検討を始めた。生涯学習課と連携し、これまでの各校の実績をそのまま生かせる令和型のコミュニティスクールを構築できるよう調査研究する。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	学校教育を地域に開くことで、学校を支える地域の輪が広がるとともに、子どもたちの自信と成長に結び付いてきている。外部評価を実施することによって、各校の研究・研修が鍛えられ、学校教育のレベルアップにつながることを期待できる。

重点施策点検・評価表

2-3

基本目標		
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化	
重点施策		
3	共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業（響学）を推進する	担当課（館）
	① 第9次学力向上に関する提言の周知と、「おおだて型学力」育成に向けた授業改善	学校教育課 教育研究所
	活動内容	第9次学力向上に関する提言（2年次）により、授業改善に向けた研修会を充実するとともに、学校訪問による適切な指導・助言により校内研究を充実させる。また、教育専門監、授業マイスター、コア・ティーチャーを活用した師範授業の提供、教育研究所による若年教員への授業支援などの取り組みにより、「共感的・協働的な学び合い」を実現する。
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 教育研究所が「授業力向上支援研修」を主催し、授業技術や学級経営に優れた教員の授業を若手教員が年に2回程度参観できるようにした。授業マイスター8名の授業を69名の教員が参観する機会を得た。また、感想記入に加えて授業者と参観者が対話する時間を20分ではあるが設けたことで、若手教員にとって大きな刺激となったことが感想から伺えた。昨年度の反省を生かし、他県での教員経験のある新規採用者にも研修の門戸を開くことで、より早く大館の教育を理解してもらうことにつながった。教師主導の一斉指導授業はほとんど見られなくなり共感性のある授業に移行しつつある。深い学びに至る授業を実現する指導力・教材研究についても模範となる授業が見られるようになった。
	課題等	教育研究所が、東京都世田谷区、岡山県、鳥取県の教職員に向けて、オンラインでの研修を提供しているが、本市の教職員も参加することによって、「おおだて型授業」の理解を深めたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	授業力や学級経営力の質を保つため、教育研究所を中心として優れた教員による研修会を実施していることは、教育の質の維持向上のみならず教員の生きがいに結びつくよい施策である。優れたシステムが循環していることを高く評価したい。
	② 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善	学校教育課 教育研究所
	活動内容	「おおだて型教育発信事業」を推進するため、教育アテンダント・ツアーコンダクターを活用し、大館市の教育ブランド48を全国の教育関係機関に発信する。各種研修や留学、教育実習、サマー・スクールの受入等を本格稼働し、各小中学校が外部との交流による情報交換や研究協議をすることで自らの実践を振り返る機会を得る。また、客観的な評価や感想を参考にすることで授業改善につなげる。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 予定されていた視察、他県からの教育実習、サマー・ウインター・スクール等がキャンセルとなる中、教育アテンダント・ツアーコンダクターが中心となって、中国をはじめとする全国とのオンライン交流や動画による発信という新たなスタイルが確立された。（本市への視察14件、キャンセル10件、オンライン8件）オンラインではあるが、本市の教育への意見や感想は外部評価ともなるもので、各校の研究推進にプラスとなった。 岡山県教委の指導主事が、1年間の研修交流として城南小学校に勤務し、本市の教育を岡山県に定期的に発信するとともに、岡山県の情報をもらうなど交流ができた。
	課題等	教育アテンダント・ツアーコンダクターが年度末で退任するため、新たな人材確保と業務の引き継ぎをする。交流事業が軒並み中止となる中、発信事業の新たな展開を構築する必要がある。 令和3年度は全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会を成功させる。（目標：参加者500名）岡山県教委からの研修交流者（北陽中へ）を通しての交流を一層推進する。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	教育の産業化という方針と相まって、教育アテンダント・ツアーコンダクターという聞き慣れない役職を設けるという発想がユニークである。県内外の学校及び各種機関と交流することで、本市の評価及び改善に生かそうとする考え方がよい。	

重点施策点検・評価表

2-4

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化
重点施策	
4	次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する
	担当課（館）
	① 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築する
	学校教育課 教育研究所
活動内容	小学校は2020年度、中学校は2021年度の完全実施を見据え、英語教育、道徳、プログラミング教育等に対応するためのカリキュラムの実施、作成をする。小学校外国語活動では、5・6年生の教科化により、教員・外国語活動支援員の各種研修を通して指導力を高めるとともに、中学校の英語科との接続を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	小学校の新指導要領は各教科とも順調であるが、外国語・外国語活動については、英語教育推進アドバイザーを中心にカリキュラム作成をし、毎時間の指導案を全小学校に配信している。外国語活動支援員を全小学校の全授業に派遣しているが、学級担任とのTTによる授業にはまだ温度差が生じている。特に、5・6年生の教科化にとまない、児童の「英語が好き」の割合が減少しているという課題があり、「書く」「話す」の活動のバランスが今後の課題である。 中学校の教育課程編成会議により、年度末には年間指導計画が完成し、各校に校務支援システムで配信している。
学識経験者等の意見	小学校の英語及び外国語活動に関連し、指導事例等を作成し提供できたこと、また、プログラミング教育に関連して、理科の電気分野に対応した教材やドローンを準備するなど、学校現場を支える体制がつくられていることを評価したい。
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備
	学校教育課
活動内容	2次学校教育環境適正化計画に基づき、保護者などへの説明を行うとともに、意見を聴取しながら、自校方式の調理場の廃止、給食センターへの統合を進める。児童生徒のICT環境推進のため、一人1台タブレット環境を整備する。（ギガスクール） 教職員の校務支援システム本格稼働による事務負担軽減を図る。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	自校方式の調理場については、長木小学校の調理場を廃止し、北給食センターに統合するために、保護者への説明、施設の整備、予算化が円滑に進み、4月からの統合が実現した。 国のGIGAスクール構想が新型コロナウイルス感染症防止の関係で前倒しとなり、12月には全児童生徒用タブレット、校内全てのWi-Fi環境が整った。合わせて、ICT活用推進委員会を設置して、運用・管理面のマニュアルを整えた。校務支援システムが本格稼働し、通信簿や指導要録作成をデジタルへ移行できた。ほかに、中学校部活動指導員の導入、学校サポーターの配置等国や県の事業によって人的資源を活用し働き方改革を推進した。切望されていた全教室+ランチルーム+中学校理科室のエアコン設置が実現した。
学識経験者等の意見	給食センターの統合に加え、4,000台を超えるタブレットの導入、教員のための校務支援システムの本格稼働、エアコンや空気清浄機の設置、中学校運動部活動指導員の配置など、教育環境のみならず教員の働き方に係る環境も整えられたことを高く評価したい。
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課（館）	
	① 達人講座の実施	生涯学習課	
	活動内容	地域のサークル等の講師（達人）が、小中学生（親子含む）を対象にボランティアで講座を開設し、昨年度と同じく22講座を実施する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 今年度新たに3講座（木のイス作り、秋田杉ペンスタンド作り、木のマグネット・カスタネット作り）を開設したが、新型コロナウイルス感染症の影響で後期のみの開催となった。後期の講座数は4講座増の13講座を実施し、申込者数は154%増の174人であった。 ≪後期≫令和元年度 9講座開設（うち、申込み無し1件）申込者数113人 令和2年度 13講座開設（うち、申込み無し0件）申込者数287人	
	課題等	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの実施方法について講師と相談しつつ、講師や参加者が安心して参加できる講座を計画していきたい。 また、新たなメニューを取り入れ、チラシのデザインをわかりやすく改善することで参加者数の増加につなげたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、交流を主体とした講座を行うことは非常に悩ましい部分がある。そのような中で、申込が174%も増加したことはすごいことである。ニーズに合ったものを選択して行っており、非常に良い活動である。	
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用	生涯学習課	
	活動内容	高等教育機関（大学、短大）や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場での活用を促す環境の整備を図る。市内各所（小中学校25校、社会教育施設等18か所）に配置し、市ホームページも更新する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 新規人財登録、活用申込みともなかった。 令和2年度 登録50人 17団体 小中学校25校は、紙名簿を廃止し、市ホームページ、庁内ネットワークのライブラリー活用とした。	
	課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていききたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	人財名簿があることと使うことには距離感があると思うが、名簿の存在をわかってもらうことが大事で、今後も引き出しを開けた工夫（名簿があることの情報発信）をしていくと、活用につながっていくことになるので継続していただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課（館）
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座（66講座）」を実施し、利用件数230件、受講者数14,000人（延べ）を目指す。 平成30年度53講座 令和元年度58講座（実績：238件、14,779人） 令和2年度66講座（実績：126件、7,717人）
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 講座数は8講座増の66講座を実施することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により受付開始が1カ月程遅れ6月10日（水）となったこと、小学校の運動会規模縮小によるはちくんダンスやあいさつ運動への出前講座申込みなど、市民活動が全体的に自粛傾向であったことから、結果としては126件7,715人が受講に留まり、昨年度より件数、利用者ともに大幅減となった。救急講座や防災に加え、糖尿病、フレイル予防や血圧など健康志向に関する申込みが多かった。
課題等	救急や防災講座、健康など、生活に密着したテーマの希望が多いことから、一層の周知をしていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	健康や防災などに人気があるのは、いざという時のための講座が必要とされていることの現れだと推察できる。今後も外せないもの、ニーズに合わせたものを考えて取り組んでほしい。
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。今年度実績：わんぱくスクール延べ3回49人（前年度9回登録者24人）、ラジオ体操開始大会中止（同17団体150人）、夏休み将棋教室49人（同60人）、夏休み囲碁教室13人（同10人）、ラジオ体操終了大会10団体90人（同10団体80人）
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 年度当初、コロナ禍により各事業が中止や大幅な規模縮小となったものの、感染対策などを講じて、夏休みには小中学生を対象とした事業を再開した。休日や夏休みに実施した「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしろ学舎」などの事業では、複数館の合同学習も行なった。単発では「将棋・囲碁教室」、「新春書初め」などのほか、地区公民館では「星空観望会」、「サケの放流事業」、「カヌー体験教室」など特色ある事業に取り組んだが「夏・冬まつり」などは中止せざるを得なかった。
課題等	新型コロナウイルス感染症の収束のめどが立たないため、今後も計画に影響が出ると思われるが、青少年の参加を高めるために小中学生が興味を持つようなイベントや活動を企画する努力を継続する。 新たなメニューを取り入れたり、対象者の枠を拡げるなどの検討をしながら、参加者が増加するように配慮したい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	コロナ禍による影響はいたしかたない。その中で事業を進めることにより新たな発見もあったのではないかとと思うので、引き続き、工夫をしながら青少年の事業への参加促進を図ってほしい。また、公民館が子どもにとって身近な存在であってほしい。事業参加だけでなく、子どもが気軽に立ち寄れる学校以外の集える場として公民館づくりを目指してほしい。

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	① 学校支援活動事業の推進
	生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用するなど、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につながる活動を支援する。今年度事業計画の地域協力者数を延べ17,791人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、地域と学校の連携・協働を図る。今年度の地域協力者数は12,733人（感染防止対策による人数制限等のため減）。①各校の特色ある授業・大館ふるさとキャリア教育「百花繚乱作戦」の支援、家庭科等の授業や学校行事における地域協力者をコーディネートする。②児童・生徒による地域貢献活動として地域と学校の連携を図る。③学校ホームページや学校報等により、児童・生徒や地域協力者の活動状況を伝えることで地域協力者の意欲向上や新たな人材確保に繋げる。
課題等	大館市教育委員会が委嘱している地域学校協働活動推進員の能力向上・連携を図り、地域力による学校教育と学校を核とした地域貢献活動の充実に努めたい。国が進める「コミュニティースクール」の導入にあたっては、本事業と密接に関わることから、学校の負担増を招かないための方策を検討していく。
学識経験者等の意見	コミュニティースクールの導入にあたっては市独自の形態を模索しつつ、良い方向性を見出して進めていってほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 家庭教育の充実
	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園・保育園・小中学校を対象に「子育て講座（40講座）」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり（12回）」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） ○「おしゃべりひろばひだまり」 新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期が遅延した。10回開催、参加者は前年度に比べ約55%減の130名となった。 ○「子育て講座」 今年度は学校、放課後児童クラブ等周知する団体を増やした結果、40団体で開催（前年度比1団体増）参加者数は約14%減で計1,682名であった。 ○「親育ち！家庭教育支援ネットワークづくり事業」 適応指導「おひとり教室」ふれあいお楽しみ会（木育講座）（参加者23名、ボランティア8名） 助産院イスキア菅原光子先生による孫育て講座（3回実施、参加者計52名） その他「担当者スキルアップ研修会」、特別支援学級でのそば打ち等体験を実施。 ○今年度の新たな取り組み 「Let's Go! 木育ひろば」・・・10回実施、参加者計771名 「プレパパセミナー」・・・参加者18名
課題等	「おしゃべりひろばひだまり」は、SNSの活用やチラシ配布場所の見直しにより市民に広く周知して参加者増につなげたい。また、ポスターやイベント内容を検討し、誰でも気軽に参加しやすいイベントをめざしたい。今年度新たに実施した「Let'sGo! 木育ひろば」は好評だったが、参加者の意見を取り入れながら内容を改善していきたい。
学識経験者等の意見	特に大事にしてほしい事業である。大館の将来を担う子どもとその親を支える活動であるので、生涯学習事業として花開いて拡大していってほしい。出生数が年約300人と減少する中で、各家庭が孤立していかないようにサポートしてもらいたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	生涯学習課
	③ 音楽療法士派遣事業
活動内容	継続事業として、市内幼稚園・保育園・小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童生徒に対し音楽療法を実施し、情緒の安定を図る。 事業計画で年間24回の開催を予定。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や低学年、気になる子がいる保育園児を対象に全24回の派遣を実施した。（小学校18回、中学校2回、保育園4回） 学校の先生と音楽療法士が協力することで、児童生徒が音楽を楽しみながら、集中力やコミュニケーション能力の向上に努めることができた。
課題等	コロナ禍ではあるが、音楽療法士は市内在住であるため、予定どおり派遣し実施することができた。 参加した児童生徒の反応も良く、今後も多くの学校等に音楽療法士を派遣できるよう、事業を継続する。
学識経験者等の意見	全国的に音楽療法による効果は知られるようになってきた。予算との関連もあるが24回が適切かどうかニーズも含め今後検討してほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	④ 青少年健全育成活動の充実
	生涯学習課
活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。 「青少年を非行から守る市民のつどい」への参加者動員目標を50人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を7月2日（木）に開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 なお、「青少年を非行から守る市民のつどい」は、当初、感染症対策として参加人数の制限や時間短縮をすることで7月6日（土）に開催予定だったが、国県の動向・方針により最終的には中止を判断し、チラシの配布や広報誌による青少年の非行・犯罪被害の防止、社会を明るくする運動の啓発活動に努めた。
課題等	新型コロナウイルス感染症の感染状況にもよるが、中央公民館会場の参加人数制限に従いながら、7月3日（土）に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催したい。
学識経験者等の意見	人を集めて行う活動は参加数の確保が難しい。大事な活動であるが、主催者としては悩ましいところだが、思い切った改革を行うなどして頑張って継続して行ってほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	生涯学習課
	⑤ 少年相談センターの活動の充実
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や少年指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。 少年指導員による年間活動数を延べ200人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 青少年や保護者が抱える様々な問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、市内小中学校や、おひとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めている。また、少年指導員28名により、市内全コンビニ店への子どもの見守り依頼や、街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視など、延べ194人の活動を通して青少年の健全育成に努めた。
課題等	相談件数が増加傾向にあり、今年度も年間200件を超える相談件数となったことから、今後も少年相談センター業務を所長と相談専門員による二人体制としたい。
学識経験者等の意見	二人体制であることで相談員の負担が分散されてきていることは良い。相談件数からいろいろな人との係わりで奮闘されているのがわかり必要な機関である。一人ひとりを大事にして相談に臨む姿勢は素晴らしいと思う。ただ、やれるところで頑張るといふ考えもあるが、健康に留意されて頑張ってもらいたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 関係機関への支援
	生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。 市補助金： 青少年育成大館市民会議 160千円 大館市子ども会育成連合会 255千円 大館地区少年保護育成委員会 124千円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成大館市民会議の総会をはじめ、コロナ禍の中であったが感染予防対策をしながら「青少年育成推進事業2020シンポジウム」の開催など、各活動・事務面において支援している。
課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなってきたり、団体もある。今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。
学識経験者等の意見	市の予算からお金を出す取り組みは大事である。事業を維持しながら、側面からのバックアップを今後もお願いしたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	生涯学習課
	⑦ 社会教育委員の活動の充実
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。 委員に対し学校訪問や研修会等への参加を呼びかけ、延べ40人以上の参加を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 北教育事務所主催の学校訪問は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、教育研究所主催による教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会には参加した。学校訪問では女性センターの木育ひろばや放課後等デイサービスばすてるを訪問し、市内の子育て支援状況等を再確認した。東北公民館大会秋田県大会も中止となったが、県社会教育連絡協議会ではその代替として記念誌を発行する運びとなり、所属する第一分科会では越前委員が本市の社会教育委員の活動について寄稿した。また、各種活動からの経験を生かし、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行っている。 令和元年度 訪問等延べ参加人数62人（12回） 令和2年度 訪問等延べ参加人数6人（3回）
課題等	継続するコロナ禍の中、活動に制約を受ける可能性もあるが、訪問先を地区公民館にも広げ、ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。また、活動を通して得たものを、第7次市社会教育中期計画の実現に向けて助言していく。
学識経験者等の意見	社会教育委員が委員会の活動として学校訪問をすることは、学校に対してもその活動を知ってもらう機会になり良いと思う。活動内容に公民館への訪問を含めていくと、さらに見える活動となるし、PRしていくことは大事である。活動が認知されると盛況になっていくと思うので頑張っていたきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑧ 生涯学習推進体制の充実
	生涯学習課
活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 生涯学習推進協議会では、7月に幹事会（書面協議）、8月28日に協議会を開催。令和2年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。また、生涯学習奨励員については、地元イベントへの積極的な参加、協力等の個人活動の他、総会及び自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加及び協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。
課題等	第7次社会教育中期計画による「大館版リカレント教育プログラムの構築」のポータルサイトの仮稼働を来年度予定している。これは「市民版ふるさとキャリア教育」を具現化する位置づけであるため、庁内連携を進めると共に、今年度の協議会での委員の意見を反映できるようにしていきたい。
学識経験者等の意見	生涯学習推進本部長が市長であるので、新庁舎を利用して生涯学習奨励員のマンパワーを生かしながら活動ができると楽しくなるのではないかと思います。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	⑨ 高齢者社会に対応した生涯学習の充実
	中央公民館
活動内容	<p>公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。</p> <p>今年度実績：老壮大学 全7回学生129人（前年度全9回139人）中央公民館 全地区公民館（11館）でも高齢者学級を実施 新春書初め交流会 18人（同34人）中央公民館 〃 33人（同32人）比内公民館 〃 3人（同0人）田代公民館</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/>目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る（80%未満）</p> <p>中央公民館をはじめ各地区公民館で高齢者学級の育成・強化に力を入れ、公民館祭や地区文化祭などを活動の成果を発表する場としているが、今年度はコロナ禍によりほとんどが縮小開催となった。</p> <p>中央公民館の書初め交流会などは、かろうじて今年度も老壮大学の書道クラブが小学生の指導にあたって世代間交流を行うことができたが、各公民館では各種事業の中止などにより、高齢者の団体やサークルが活躍する機会が失われる結果となった。</p>
課題等	<p>超高齢化社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、高齢者事業の参加者は毎年減少している。昨年度横ばいであった老壮大学入学者は、今年度も減少に転じた。近年は60歳を過ぎても就労している方が多いことも理由ではあるが、健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごすための魅力ある講座も提供が必要となる。また、中高年勤労者を対象とした新規事業も必要と感じる。</p>
学識経験者等の意見	<p>高齢者学級については、参加者が楽しいと思える感覚を抱ける内容になるよう、引き続き取り組んでほしい。高齢者学級を通じて友達の輪が形成されることが大事だと思う。また、各地域にある高齢者福祉・保健を担う団体と連携しながら高齢者の学習の場の裾野を広げていってほしい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑩ 大館版「リカレント教育」プログラムの構築
	生涯学習課
活動内容	<p>人生100年時代に対応して、学び直しに向けた環境作りを推進する。（地方創生推進交付金対象事業） 令和2年度から4年度までの3年間事業（毎年申請） ①リカレントポータルサイト構築のための仕様書作成、②大館教育のブランド化・産業化の提案、③事業推進のための環境整備の推進</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/>目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る（80%未満）</p> <p>地方創生推進交付金事業として採択され、10月にプロポーザル形式により受託業者を決定し契約締結した。</p> <p>市民や企業等へアンケート調査を実施し、市民や企業が望んでいる講座の方向性を探った。</p> <p>3月26日に業者から上記①②についての提案が提出された。また、環境整備のための拠点施設の整備、講座開設に必要な機材の納品は完了した。</p>
課題等	<p>今年度提出された仕様書等により、ポータルサイトプログラムの制作等を発注し、10月のポータルサイトの仮稼働の実現を目指すため、受託者の決定を迅速に行い、市民が求めるリカレント教育の講座や大館教育について情報発信し、ブランド化（他との識別化）を進めると共に産業化への道筋を構築したい。</p>
学識経験者等の意見	<p>社会人の学び直しは人生100年時代には必要で、壮大で素晴らしい計画だと思う。「大館学び大学」が市内3つ目の大学として認知されていくよう頑張っていたきたい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3 - 3

推進目標													
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援												
重点施策													
3	<table border="1"> <tr> <td>高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する</td> <td>担当課（館）</td> </tr> <tr> <td>① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施</td> <td>中央公民館</td> </tr> <tr> <td> 活動内容 高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人） </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 点検評価 <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 課題等 「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。 </td> <td> 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td> 学識経験者等の意見 「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。 </td> <td></td> </tr> </table>	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課（館）	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館	活動内容 高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）		点検評価 <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）		課題等 「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見 「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。	
高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課（館）												
① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館												
活動内容 高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）													
点検評価 <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）													
課題等 「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度												
学識経験者等の意見 「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。													
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 課題等 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table>	活動内容		<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）		課題等 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		学識経験者等の意見					
活動内容													
<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）													
課題等 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度													
学識経験者等の意見													

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	生涯学習課
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施
活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。さらに、木育を中心とした事業を開催する。 メイン開催日の中央公民館会場では、2年目となる木育キャラバンも予定しており、来場者数2,500人を目標とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 9月、10月を生涯学習推進月間として、栗盛記念図書館や北地区コミュニティセンターなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催された。（延べ参加・入場者数5,858人）中央公民館会場では、新型コロナウイルス感染症対策として体験型ブースや食堂開設を控え、9月26日（土）、27日（日）の2日間に渡り、中央公民館サークル協議会や大館桂桜高等学校、大館市発明協会、教育研究所等による作品展示を主体として鑑賞イベントを開催し、生涯学習の実践活動発表の機会とした。（来館者数：26日803人、27日1,197人、計2,000人）
課題等	新型コロナウイルス感染者数が比較的落ち着きを見せた時期だったため、9月26日（土）、27日（日）に開催することができたが、それでも一部協賛事業は中止としている。また、当初同時開催を予定した「木育キャラバン」は1月16日（土）、17日（日）に時期をずらして開催した。今後の状況にもよるが可能な限り事業内容等を検討して開催していきたい。
学識経験者等の意見	展示型の開催だとしても、作品を自由に自分のペースで見ることができるので開催したことは良かった。 発表の場として自分の製作品を展示することは、生涯学習のきっかけや励みになると思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 「大学公開講座」の実施
	生涯学習課
活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関と連携し公開講座を年2回開催する。講座内容については、大学の特色を生かしたテーマを設定し、時事に即した内容の講義を行う。 実施校：秋田看護福祉大学、秋田職業能力開発短期大学校
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 秋田看護福祉大学の「大学公開講座」は、例年7月上旬開催としていたため、医療系大学の施設であることも考慮し新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として中止した。 また、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと、10月2日（月）に第3回「大学校公開市民講座2020」を開催し、同大学教授からスマートフォンやインターネット等の身近な通信技術について講義があった。（受講者数18名）
課題等	秋田看護福祉大学の「大学公開講座」については、感染対策を講じたうえで開催していきたい。 秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開講座」は、当初、3日間を別テーマで開催する予定でしたが、申込者が少なく中止を判断した。次回はアンケート等を参考に市民のニーズに沿ったテーマについて大学校と一緒に検討していきたい。
学識経験者等の意見	今後、リカレント教育事業へつながる事業だと思うので、整理・統合を進めてほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	生涯学習課
	③ 地域活動団体への支援
活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。 市補助金：大館市連合婦人会 248千円 Odate Marching Band TEDAOLE 200千円 おおだてロボット人材育成コンソーシアム 100千円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 本市の予算の範囲内で申請のあったすべての団体に交付できた。各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫しながら、衰退しないように努力している。
課題等	本市予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動を支援し続けている。おおだてロボット人材育成コンソーシアムについては、活動内容の見直しもあり、来年度の補助金は5万円の減少となった。地域活動団体については、メンバーの高齢化等による会員減少が著しくなっている団体もあり、若年層の団体加入による若返り化が課題となっている。
学識経験者等の意見	おおだてロボット人材育成コンソーシアムについては、子どもたちが楽しみながらできる活動にしていくと良いと思う。補助金は活動を支えるものなので、継続していただきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	④ 地区住民や関係団体との連携強化
	中央公民館
活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を、地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。今年度は、特にコロナ禍による事業の開催可否の検討などもあり意見調整に努めた。 今後、災害時にはコロナ対策を考慮した対応が必要となるため、公民館職員を対象として避難所開設訓練を3回にわたり実施した。今後、各地区において住民自治会などとの研修会につなげることとなるが、すでに二井田地区においては、町内会長連絡協議会との合同訓練が実施された。
課題等	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。定期的に防災・避難訓練や災害を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。
学識経験者等の意見	有事を想定して地区住民や地域団体と防災・避難訓練を実施することは重要。その際に、地域交流の拠点であるとの視点も大事にしながら、参加者が楽しいと感じられる手法で実施したらどうか。合わせて常日頃から、地域住民が気軽に立ち寄れる、遊び感覚を抱くことが出来る公民館づくりをしていってほしい。そのことが、有事の際も大きな力を発揮できると思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
	中央公民館
活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる施設もある。また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠なもの修繕で対応しているが、地元の見解・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。今年度は矢立公民館大会議室エアコン更新、花岡公民館の廊下床張替え、岩野目、山田分館のタタミ表替えなどを行なったほか、ストーブ、プロジェクタースクリーン、AEDなど備品の更新により側面からの支援も行った。
課題等	地区公民館分館は15施設あるが、老朽施設が多く、計画的な整備にしても長期にわたりその間に突発的な修繕が多々発生する。また、建物以外でも、ストーブやエアコンの老朽化が進み故障の都度修繕で対応しているが計画的に更新する必要がある。地区住民の生涯学習の拠点として機能するために予算確保の努力を継続する。
学識経験者等の意見	限りある財源のなかで、公民館施設の改修・修繕を進めていくことは容易ではないが、優先順位を決めて進めていってほしい。また、今後、人口減が予想される中で、統合や集約等施設の在り方についても地域住民の見解を聞きながら議論を開始していってほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進
	中央公民館
活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望など、アンケートを取り集約している。地区公民館では、町内会や関係団体との会合等で常に意見要望を出してもらい今後の事業に反映するように努めている。 今年度、コロナ禍による事業縮小など制約を受けながらも、地区公民館では、地区歴史研究会企画展（釈迦内）、館長のちょぺっと活かした講座（長木）、地区支え合い研修会（二井田）、3館交流歴史講演会（十二所）、歴史展示室整備事業（矢立）などの新規及びリニューアル事業を実施した。
課題等	少子高齢化や60歳以上の勤労者増加などの社会状況の変化に対応し、地域住民のニーズを把握しながら事業の見直し・改善を進める。また、必要に応じ、NPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動（社会貢献）の活用や、他自治体の事例を参考にしながら事業を充実させる。また、地区公民館では、各地区の歴史や風土などの学習素材を取り入れた特色ある事業の掘り起こしを進める必要がある。
学識経験者等の意見	複数公民館共同による事業の実施を今まで以上に進めていってほしい。参加者増、内容の充実及び費用の節約並びに 地域を超えた新たな人間関係の形成という点からも効果があるように思われる。また、高齢者が多いなら福祉事業との連携等も考えてはどうか。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	生涯学習課
⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施	
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。 毎月1回の定例会を実施する。 各施設の横のつながりを図るため、クラブ対抗の大会（ドッジボール、カルタ）を開催する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初に各児童クラブにおいて行事やイベントの開催を自粛する傾向がみられたものの、徐々に感染症対策に留意しながらの開催が増加し、放課後児童に対し体験活動を提供することができた。また、小学校休校期間中には規模縮小をしながらも開所時間を延長し、児童の居場所作りを行った。直営全体でのドッジボール大会については、感染症対策として短縮日程で実施したが、保護者より好評を得ることができた。カルタ大会については、密を避ける事が難しいとの考えから、各クラブ代表者を集めての本選実施は叶わず、各クラブ内における実施となった。毎月1回の定例会については、感染症対策のため研修会は1回のみとなったが、毎年支援員より好評を頂いている外部講師を招き実施することができた。
課題等	支援員が公休や有休をとる際の代替職員（PP・プレイングパートナー）不足が課題となっている。来年度より代替職員の雇用形態を会計年度任用職員に変更する事で処遇が改善されるため、それを足掛かりに必要な数の確保に努めていきたい。
学識経験者等の意見	ありがたい活動だと感じる。子どもに係る事業は大事にしてほしい。手間や費用がかかるが、根気よく継続していただきたい。 子どもの素の部分、ありのままを受け止めて、難儀だらうけれども頑張ってサポートをお願いしたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
⑧ 「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催	
	生涯学習課
活動内容	カルタを普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。カルタ大会の運営に高校生ボランティア（目標5人）を募り、審判・読み手の育成も図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 昨年度は市内直営の放課後児童クラブ9施設でそれぞれカルタ大会の予選を行い、代表者73名が中央公民館で『児童仲良しクラブ対抗カルタ大会』に参加した。 今年度の大会は三密を避けるためにクラブごとの開催とし、開催の有無は各クラブの判断に委ねる形をとった。開催したクラブは5施設で参加者は計88名と昨年度の予選参加人数より少ないと思われるが、大会終了後においても、放課後児童クラブでは児童が大館ふるさとカルタで遊ぶ姿が見られ、普及の一助を担えたものとする。
課題等	放課後児童クラブ登録児童を対象としたカルタ大会を今後も継続して開催していくと共に、大館ふるさとカルタ普及に向けた新たな取り組みを見出したい。
学識経験者等の意見	引き継がれる、つながる活動で良いと思う。大館ふるさとカルタが認知され、市民にも広がっていく活動になるとありがたいと思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課（館）	
	⑨ 木育事業の実施	生涯学習課	
	活動内容	定期的な木育事業を実施することにより、乳幼児から高齢者までの世代間交流の機会創出につなげる。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
		令和2年度の新たな取組として移動型木育ひろば「Let's Go! 木育ひろば」を保育園、小学校、支援学校など8カ所で計10回実施し、幼児から高齢者まで延べ771名が木のおもちゃに触れながら楽しい時間を過ごした。 また、2回目となった移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン」は、新型コロナウイルス感染症の影響から東京おもちゃ美術館とのやりとりをオンラインで行い新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した。2日間で延べ468名の来場があり、多くの子育て中の親子が全国各地の選りすぐりの木のおもちゃと出会い、木の感触や香りを感じながら楽しい時間を過ごし、自然環境の保全や木材の良さを学ぶことができた。	
	課題等	より多くの市民に木に触れる機会創出のため、木育イベントやワークショップを開催し木の良さや自然環境の保全を周知していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
	学識経験者等の意見	とても良い事業だと思う。デジタル化の流れの中で、人間的な温もり、ふれあいや遊びなどアナログ的な価値も大切にしてほしい。今後も充実した事業展開を拡大していただきたい。	
			生涯学習課
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

3 - 5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める
	担当課（館）
	生涯学習課
	① 図書館運営に関する進行管理
活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、図書館利用者へのサービス向上を図りながら「生涯読書」活動を推進している。 恒例となっている読み聞かせ会の開催や図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放など、多様なイベントを通じて来館者が親しみやすい図書館となることにより、利用者の増加を図っている。また、防犯カメラ映像のモニター監視による館内セキュリティの確保や、入館者数カウンター（センサー）による来館者の把握、空気清浄機や書籍殺菌機の導入など、館内環境維持に努めている。 新型コロナウイルス感染症の影響により4～5月に17日間閉館したが、閉館前に貸出冊数を増やした結果、閉館により利用者数は減少したものの貸出冊数は増加した。また館内では席数を制限するなど、感染防止対策に努めながら利用者へのサービスに努めた。
課題等	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。
学識経験者等の意見	図書館の総合的事業として学校図書とも関わりを持って展開しているのが分かった。コロナ禍、人口減少や読書習慣など事業展開では悩みや難しいこともあると思うが、継続していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-6-1

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課（館）
	① 芸術文化団体への支援	生涯学習課
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 市補助金：大館市芸術文化連盟 410千円 比内芸術文化協会 110千円 田代地区芸術文化協会 110千円
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 本市予算の範囲内で補助金交付を行っている。 令和2年度は各団体とも補助金額が数千円減少となったが、各団体とも補助金を有効に活用しながら活動内容を工夫し運営に努めている。
	課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	人口減少により、芸術文化の継承は厳しい問題であるが、記録関係だけはきちんと取り、保存したら良いと思う。今後、外から入ってくる人の中に、興味を持つ人や研究サークル等が現れるかもしれない。そのあたりを念頭に整理しながら、拡大していく動き、いつか化けるかもしれないことを期待する方向性もある。いずれにしろ難しい問題だとは思う。
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用	生涯学習課
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用を図ることにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。 市内小中学校（全25校）へ周知し、巡回公演4校以上で実施を目指す。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行った。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で2校のみの実施となり、令和3年度は1校が申請している。さらに、3年連続での開催となった文化庁補助の令和2年度伝統文化親子教室事業（地域展開型）「大館市伝統文化親子教室事業～遊びと、体験と、鑑賞会～」は大変好評であった。
	課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、4年目として関係団体と連携しながら実施予定。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	子どもが本物を見る、本物に触れる機会はとても大事なので今後も継続し、各校へお知らせしていただきたい。	

重点施策点検・評価表

3-6-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課（館）
	生涯学習課
	③ 郷土芸能保存協会等との協働
活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市伝統文化親子教室～遊びと、体験と、鑑賞会～」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部 体験（木育・手作りおもちゃ大会作品展示、秋田犬絵画展含む） 午後の部 鑑賞会 全体の来場者目標240人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら12月5日に「大館市伝統文化親子教室～遊びと、体験と、鑑賞会～」、1月8日に「教職員のための大館曲げわっぱ太鼓体験」を開催した。午前の部体験には47名が参加、午後の部鑑賞会では360名が鑑賞した。木育手作りおもちゃ大会には16点、秋田犬絵画展には40点が出品された。出演者や講師等を含めた参加総数は540名となり、コロナ禍で様々なイベントが中止となるなか、開催を歓迎する声が多く好評を博した。教員体験は19人が参加し、大館曲げわっぱ太鼓への理解を深めた。
課題等	各地区に残る郷土芸能を存続させるためには、学校との連携は欠かせないものになりつつある。各地区と郷土芸能の歴史を学び、郷土への愛着を育むことが必要であるとともに、親世代が郷土芸能に触れる機会創出を考える必要がある。
学識経験者等の意見	伝統を重んじるものと最新のものをミックスした活動であったことで、幅広い年齢層の方々が共に活動できることは今必要なことで、ありがたい活動だと思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

4 - 1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課（館）
	① 企画（特別）展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	大館の自然や文化財に対して関心を高めてもらうため、リアルタイムで情報発信できるホームページ、ツイッター、フェイスブックをツールとして、旬で興味深い内容を400件程度発信する。
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>コロナ禍で人々の移動が制限される状況の中、博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどホームページの更新28回、ツイッター166件、フェイスブック329件、合計523件の情報発信を行った。 また、風穴館のユーチューブ動画の視聴回数は484回のほか、ニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信し関心を高めた。博物館の企画展で郷土の日本画家の作品展を開催して多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。</p>
課題等	<p>コロナ感染の収束が見通せない状況が続いているが、各施設の情報や企画展について、広くPRするため、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等のSNSにより、タイムリーな情報発信に努める。</p> <p>取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	情報発信は現代社会のニーズにマッチしている。今後も情報の発信に努めていきたい。
	② 学術的講座や企画展の開催
	歴史文化課
活動内容	児童や関係団体に好評な「わくわくシリーズ」や「出前講座」の開催、大館郷土博物館等における学術的講座や特別展の開催など、関係課や関係団体と連携しながらニーズに合わせた学びの機会を提供していく。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>コロナ禍のため出前講座の要請は減少したが、子ども科学教室「わくわくサイエンス」は、定員数を抑え感染症対策を施して5回実施した。学術的講座としては、新しい試みとして小坂町と共同で当地域をテーマとした「大館・小坂博物館講座」を3回（6講座）開催した。 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、WEB会議システム「ZOOM」を用いたオンライン形式と参集による併用方式で開催した。講師は本市と小坂町の学芸員等のほか民間の郷土史研究家が務めた。企画展は、「発掘！大館城跡～令和元年度発掘調査成果展～」や「成田昭夫 日本画展」など6回開催した。</p>
課題等	<p>コロナ禍では人が密に参集しないような型式での講座運営が求められる。オンライン講座の受講は未経験のため、「自分にとって難しいのではないか」という先入観が高齢者層にあることが課題である。参加者アンケートによれば、「本講座を受講してオンライン講座を受講できるようになったことが収穫」という感想も寄せられているため、簡単であることをいかに周知できるかが課題でもある。</p> <p>取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	大館市と小坂町の連携による講座は、広域的で良い取組みである。広い視点で力を合わせやっていくことは今後の事業のヒントになると思われる。 オンラインは一度経験した高齢者が他の高齢者にその良さを教えるなどして横の広がりとなって波及していくことが今後楽しみである。

重点施策点検・評価表

4 - 2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課（館）
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存と、継承や公開の機会を支援する。 また、市内に存在する文化財の公開や保護の活動をしている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、市内の小学生へ郷土芸能を継承する機会を設けることができた。 例年行ってきた大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会や伝統文化親子教室での伝統芸能の発表などは、昨今の社会情勢の影響により実施できなかった。
課題等	両団体とも高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい状況が続いているが、地域の郷土芸能を継承するため小学校で活動しており、支援を継続していく必要がある。
学識経験者等の意見	少子化により若い人が減っており、担い手の確保がなかなか難しいと思う。 伝統芸能を記録として残していくことで、大館以外の人が興味を持ち伝えていける可能性がある。撮影したものを活用していければ良い。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課（館）
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖
	歴史文化課
活動内容	天然記念物「ザリガニ生息地」の再生を目指す。また、今年度は増殖事業の3年目を迎え、ニホンザリガニの増殖技術が更に向上するよう関係者と連携し情報交換をしていく。 昨年度完成した人工生息地については、定着状況や生息環境について丁寧にモニタリングをして対処していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館郷土博物館、男鹿水族館での飼育展示を通して、天然記念物保存の気運を醸成するため教育普及に努めた。 昨年度創出した第一人工生息地でモニタリング調査を行った結果、30匹が確認され個体を放流しなくても周辺から自然に入り込んでいたため、創出した環境がニホンザリガニに適していた結果であると考えられる。また、令和4年度以降に造成予定の第二人工生息地の設計を行った。
課題等	増殖技術はまだ確立されていないので、専門家の協力を得て引き続き研究していく。 第一人工生息地は、環境の変化が生じていないか、きめ細かな現場確認が必要である。また、第二人工生息地は令和4年度以降に創出を行う予定であるが、湧水量が少ないことが課題である。
学識経験者等の意見	ニホンザリガニ生息地の南限であることを多くの市民の方々に理解してもらえば、後押しとなって生息地を整備しやすくなるので継続して推進していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	大館城跡発掘調査に伴う出土品について、整理・記録・保存をする。また官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査は、相手方と連携しながら適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 新庁舎建設に伴う市民体育館、武道館跡地の発掘調査が終了した。官民の開発事業に伴う調査は8件実施した。 これまでの成果を企画展「発掘！大館城跡～令和元年度発掘調査成果展～」として郷土博物館において7月12日から8月22日まで開催し、コロナ禍の中652人の来館者があった。
課題等	大館城跡の発掘調査は今後も続いていくことから、関係部局と綿密に協議を重ねながら事業を進める必要がある。また、出土品の整理保存や記録報告を確実に丁寧にしていく。 大館城は歴史的に興味深い分野であり、市民や市民以外へも、適宜調査の成果について情報発信し、関心を高めていきたい。
学識経験者等の意見	大館城の話は興味深い。新庁舎もオープンし、大館城の展示コーナーもあるとのことなので、発掘品を活用して関心を持ってもらえるように取り組んでいただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-2

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える	担当課（館）	
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組み		
	活動内容	文化庁の名勝調査事業として、3年をかけて国の名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指す。今年度は2年目で、昨年度に引き続き調査委員会の開催、庭園の測量、文献の調査を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
		令和元年度に設立した名勝地調査委員会について、令和2年度は1回目が書面開催、2回目は一部委員がWEB会議システム「ZOOM」による参加であったが開催することができ、名勝指定を目指す上での課題・調査の進め方など詳細なアドバイスと指示をいただきながら進めた。また、庭園の測量などの他、鳥潟家に関わる文献の調査を行い中間報告書を作成した。来年度も継続していく。	
	課題等	調査事業は複数年にわたるため、スケジュールに沿って遅滞なく進めていく。また、文化財の価値や文献調査等については専門知識を要するものであり、委員からご意見を伺いながら慎重に進めていく必要がある。国の予算の関係で事業期間が3カ年の予定から4カ年に伸びることとなったが、調査を深める良い機会ととらえ、着実に実施していきたい。	
	学識経験者等の意見	見学者は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているが、コロナ後をイメージして庭園や会館のPRを行っていただきたい。	
			歴史文化課
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

4 - 4

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
	担当課（館）
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援
	歴史文化課
活動内容	「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は3年目を迎える。民間の実行委員会であるが、実績に結び付くよう積極的に支援していく。 昨年度に続き、ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座や、外国語対応のホームページ・動画作成等の事業が予定されており、関係課とも連携して取り組んでいく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会が計画していたヘリテージマネージャー・ステップアップ講座として市内でのフィールドワークや研修会を実施した。また、中国語版ホームページを作成するなど、情報発信事業を行った。事業の実施にあたり、実施団体や関係課と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議しスムーズに進めることができた。
課題等	歴史まちづくり事業のソフト部分を推進するため、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用など期待が高いが、本委員会への新規参入がない現状。 今後、伝統芸能活動の維持保存を図っていくためにも、事業の成果を活かし、賛同する団体を増やしていきたい。
学識経験者等の意見	伝承保存がむずかしくなっていく中で、歴史的価値を見直し事業化することは大切だと思う。市役所も新しくなり、事業の「見える化」に向け情報を積極的に発信してほしい。
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	